

報告事項（4）

地域公共交通ネットワーク再編検討調査について

1 背景

各地区でコミュニティバスの運行が開始され、公共交通計画に定める公共交通のカバー圏域について、人口カバー率 89.7%まで拡大をしてきた。

しかし、公共交通を取り巻く環境は厳しく、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用は大きく減少し、より困難な状況に直面している。全ての公共交通モードについて、市の事業支援・負担額拡大が見通される状況となっている。

また、地区ごとに運行するコミュニティバス路線の整備が進んだ現在の公共交通網について、市民にとってより利用しやすいものとするため、市全体で最適化をしていくためのネットワークの点検が必要になってきている。

2 目的

今後も本市の公共交通サービスを維持・拡充していくため、新型コロナの影響や公共交通サービス強化などへの対応に伴う財政支援の拡大に備えて、中長期の財政支援額の見通しを確認する必要がある。そのため、今後の財政支出の見通しをふまえた、公共交通のあり方を検討する。

また、公共交通計画はコロナ前の状況に基づいて策定されているため、コロナの影響を受けて必要な改善を検討するとともに、公共交通の再編案を作成し、ネットワーク全体の最適化・改善を図る具体的な方策を検討する。

3 調査対象

市内全域

4 今後の方針

調査実施後、結果を公共交通会議で共有させていただく。

具体的な実施等については市で整理・検討の上、公共交通会議に諮り協議を進めたい。